

# つくば市議会だより SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

9月定例会 No.178

令和5年(2023年)12月1日発行

発行：つくば市議会

編集：広報広聴委員会

一般質問	P 2～6
行政視察報告	P 7
予算決算委員会審査	P 8～9
委員会審査・議案等審議	P10
議決結果・賛否	P11
特集	P12

## 令和4年度決算審査から令和6年度の取り組みへの提言を市長に提出しました！

つくば市議会では、予算と決算を連動して審査することにより、議会のチェック機能を強化することを目的として、決算審査において各分科会で事業を選定し、昨年度に引き続き、議会から市長へ提言しました。

▶ 提言内容は市議会ホームページから



市長へ提言書を提出する様子

▶ 魅力発信事業

▶ 図書館運営事業

総務文教分科会

▶ 母子保健指導  
(あかちゃん訪問・  
養育支援訪問・  
産後ケア事業)  
に関する事業

福祉保健分科会

### 選定事業

市民経済分科会

都市建設分科会

▶ 森林保全に  
要する経費

▶ 水道事業

▶ 空き家対策事業

## 令和5年度つくば市議会報告会を実施しました

○実施内容○

- ① 定例会などの概要報告 → **YouTube** で動画配信 ▶ 詳細はこちら >>
- ② 市民との意見交換 → **議会カフェ** 開催 ▶ 詳細は **特集ページ** へ



つくば市議会チャンネル  
YouTubeで動画を配信しています



チャンネル  
登録  
お願  
い  
し  
ま  
す

### 9月定例会ハイライト

一般質問 19名の議員が白熱の議論を展開

議案審議 議案など32件、請願1件、  
意見書案3件を審議

### 12月定例会開催中

11月30日(木) 開会  
12月7日(木) 一般質問  
8日(金) 一般質問  
11日(月) 一般質問・総括質疑  
13日(水) 予算決算委員会(総務文教・福祉保健)  
総務文教委員会・福祉保健委員会  
14日(木) 予算決算委員会(市民経済・都市建設)  
市民経済委員会・都市建設委員会  
19日(火) 予算決算委員会  
22日(金) 討論・採決・閉会



つくば市議会だよりが  
スマートフォンで読めます





川久保 皆実 議員

つくばチェンジ チャレンジ



小学校の体操服の価格差について

質問 指定体操服について学校間で大きな価格差がある上、市内3校では体操服を自由化しており、さらに安価に体操服を調達可能である。当該価格差の合理性についてどのようにお考えか？

答弁 学校指定体操服は、各学校でさまざまであり、ある程度の金額差はやむを得ないが、最高額と最低額の金額差といった観点では合理性に欠ける部分もあると考えられる。体操服自由化の学校との格差も、今回の

調査である程度把握したところであり、合理的ではない部分があると認識している。

質問 保護者の経済的負担軽減のため、体操服の自由化などについての保護者アンケートの実施や指定体操服メーカーの定期的な見直し(見積もり合わせなど)を各学校に促してはどうか？

答弁 見積もり合わせは検討すべきと考えている。体操服については、教育委員会の指示ではなく、各学校が主体的に考え

Table with 2 columns: 最低額, 最高額. Rows include 長袖, 長ズボン, 長・上下, 半袖, ハーフパンツ, 半・上下.

答弁内容を基に作成

このほか、病児・病後児保育施設および一時預かり保育施設の空き状況の公開、公設児童クラブにおける長期休み中の弁当注文について質問した。



木村 修寿 議員

自民党清くクラブ



豊里ゆかりの森整備について

質問 ①築30年以上経過し、各施設の老朽化が進んでいる、宿舍あかまつ・工芸館・アスレチック遊具やテニスコート改修整備工事についてスケジュールなどを伺う。②新規で整備する園内周遊コース整備工事の事業内容について伺う。③テニスコートは、約35年経過しており、くぼみができ、プレーする際に危険である。利用者の方からもさまざま要望がある。改修工事の詳細について伺う。

答弁 ①豊里ゆかりの森の改

修整備などについては、計画的に改修工事を行っている。令和5年度は、宿舍あかまつのデッキ、工芸館展示棟の内装およびテニスコートの改修工事や、アスレチック遊具の更新工事などの他、園内周遊コースの新規整備を予定している。スケジュールについては、発注作業を進めており、年度内に完了する予定である。②園内周遊コースの整備工事は、敷地の外周を散策する遊歩道を新たに整備するもので、整備内容としては、総延長

約2200㎡、幅員2㎡、両脇に丸太を設置し、10センチ厚のウッドチップ舗装を予定している。③テニスコート改修工事については、2面あるハードコートを足腰に負担の少ない砂入り人工芝コートに全面改修する他、屋根付きベンチの設置を予定している。その他、管理や付帯設備について、要望をいただいているが、今後の利用状況を見ながら検討していく。

このほか、都市計画道路上河原崎西環状線・東環状線、谷田部支団第九分団詰所の整備状況について質問した。



小久保 貴史 議員

つくば自民党



自動運転バス実証実験について

質問 スーパーシティの取り組みにおける交通やモビリティの内容について伺う。自動運転バスの実証実験の内容と運行エリアや今後について伺う。

答弁 スーパーシティの取り組みにおける交通やモビリティについては、つくば駅周辺での移動の利便性や回遊性の向上、交通弱者の安心・安全な移動の実現に向けて、多面的に取り組むを進めている。具体的には、パーソナルモビリティのシェアリングサービスの実現に向けて、

現行の道路交通法で実現可能な時速6速でのシェアリングサービスの実証を計画している。また、A-オンデマンド型交通サービスの実証や、昨今の民間路線バス事業者が抱える運転手不足の解消などの課題解決を図るために、筑波大学および民間企業と共に自動運転バスの実証、実施に向けて検討を進めている。

自動運転バスの実証の内容については、国の自動運転に関する補助事業といったものの活用を見据え、市や筑波大学、関東鉄



塩田 尚 議員

山中八策の会



ごみ減量化とリサイクルの取り組みについて

質問 令和3年度のごみ処理経費は国民1人当たり年1万7千円に達する。①市の年間処理費用と市民1人当たりの処理経費はいくらかかっているのか。②ごみ減量化とリサイクルは環境整備の上で重要な課題だが、市の取り組みは？③持続可能な社会を目指すには、子どもたちへのごみ問題教育が大切と考え、市教育現場での取り組みと教育局の方針を伺いたい。

答弁 ①令和3年度は、年間市の処理費用が約23億円、市民1人当たり約9300円である。②減量化に向け、段ボールコンポスト無料配布や生ごみ処理容器等購入補助などを行っている。リサイクル化としては、生活系ごみは、雑がみ・プラスチック製容器包装を分別収集してリサイクルセンターで中間処理を行い、不燃ごみと粗大ごみは破碎処理、金属もリサイクル処理を行っている。また、再利用可能な粗大ごみは2カ月に1回、希望者へ無料提供し、親子対象のリサイクル講座も開催し

ている。事業系ごみについては、日量平均100kg以上排出事業者への指導、市内事業者へのパンフレット配布などを行っている。③4年生社会科の学習でサステナスクエアへの見学なども行う。つくばスタイル科の環境分野でも学習し、市の出前講座などを活用する学校もある。中学校では、公民分野や環境分野、つくばスタイル科でごみ問題や3Rなどを学習している。一人一人が日常生活からの気付きを大切に、課題意識を持って、解決に向けて主体的に取り組む学びの推進が肝要だと考える。このほか、生成AIにおける市の取り組みについて質問した。



このほか、台風2号の被害内容と対応や今後の被害水田への営農支援について質問した。





はまなか かつみ 議員

公明党つくば



### 国保のインセンティブについて

【質問】

国民健康保険制度でのインセンティブには「保険者努力支援制度」がある。評価指標に沿ったさまざまな事業を実施していることだが、交付金を獲得するに当たり、課題と取り組み、および国保加入者個人に対するインセンティブについて伺う。

【答弁】

保険者努力支援制度は、保険者である市が実施する評価指標の取り組み状況を点数化し、その点数に応じて国から交付金が交付される制度である。市の

令和4年度の獲得点数は、960点中499点で県内19位である。課題は、評価指標の中で特定健診・特定保健指導の受診率やジェネリック医薬品の使用割合の獲得点数が特に低いことである。特定健診無料の周知やジェネリック医薬品使用による自己負担軽減のPRなどを強化し、特定健診受診率向上、ジェネリック医薬品使用促進を図っていく。個人に対しては、県公式アプリ「元氣アップ!」いばらき」により、市が実施する健康

診察やがん検診の受診、健康イベントの参加、ウォーキングなどの自主的な予防・健康作りに対してポイントを付与し、貯まったポイントに応じた各種景品が当たるなどのインセンティブがある。なお、この公式アプリの市民登録者数は、令和4年度末時点で1548人である。

【要望】

取り組みの強化により、加入者の健康の保持・増進や医療費の適正化が進み、ひいては保険料負担の軽減につながると思うので、より一層の事業取り組みの充実をお願いする。

このほか、HPVワクチン接種支援・裁判外紛争解決手続き(ADR)について質問した。



きむら きよたか 議員

清郷会



### 下総広域農道(アグリロード)の東西延伸

【質問】

つくば市下総広域農道(アグリロード)の東西延伸に関して長年要望してきた。①要望が増えている常総市をはじめ、県西地域と連携して小貝川に橋を架けることで、長峰橋のある県道土浦境線(上郷・今鹿島・沼崎)、愛国橋のあるつくば古河線(吉沼)の渋滞緩和をし、通学路での小中学生の安全を守ることで、②広域農道でなく一般の生活道路として新たな道路を整備することについて伺う。

【答弁】

①つくば下総広域農道については、令和元年度に事業が完了しており、この間、事業者である県に西側への延伸について確認しているが、広域農道としては、事業が完了しているため、整備することはできないと伺っている。長峰橋、愛国橋については、県の管理となっていることから、管理者である土木事務所を確認したところ、両箇所とも、渋滞について苦情や問い合わせがないため調査を行っていないということだが、少なからず通勤時間帯の交通混



雑が発生していることは認識をしていた。市としても、朝夕の時間帯の交通混雑はあるものと認識をしている。②今後、西側への新たな道路整備については、地元の方などの意見を伺いながら、常総市と協議していく必要があると考えている。

このほか、介護予防・日常生活支援総合事業の取り組み、管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士・作業療法士などの専門職が関わる具体的支援について質問した。



やまなか まゆみ 議員

日本共産党 つくば市議団



### 今後の学校プールの在り方 計画立案を

【質問】

市では、児童生徒数増に伴い他校の学校プールを借りている。みどりの市民プール建設で、状況が改善されるのか。また、修繕が必要なプールへの今後の対応について質問する。

【答弁】

令和6年度にみどりの南地区建設中の「つくば市民・学校プール」が供用開始予定なので、使用予定の11校は改善していくと考えている。大規模改修が必要なプール2校は老朽化が進み、不具合対応の修繕では難しく、大規模改修工事を行う

べく今年度改修設計を進めている。学校プールの大規模改修は、修繕の必要性、状況などを把握し、個別に検討している。

【質問】

議会への説明もなく洞峰公園プールを学校プールとして利用する提案が市長からあった。学校外プールの利用は、送迎、時間割の調整など教員に大きな負担が伴い、安易に解決できるものではない。今後の市内学校プールを修繕するのか学校外プールを利用するのかなど、教員、児童生徒の意見も踏まえ

【答弁】

予定である。エレベーターの設置については、工法の検討や事業費の見積もりなどを行ったが、予算や工事スケジュールへの影響が大きいことから、早期供用開始を考慮し見送った。基本的には、劣化度調査結果などを踏まえ、施設運営上、改修が不可欠な工事を実施する予定である。



はしもと けいこ 議員

日本共産党 つくば市議団



### 荃崎保健センターにエレベーター設置は必須!

【質問】

荃崎地区区会連合会・荃崎地区PTA連絡協議会・市シルバークラブ連絡協議会荃崎支部・地元選出議員を対象に改修計画の報告があったが、その中でエレベーターの設置が見送られたことに対し、設置を強く求める意見が出ている。設置は極めて重要だと考えるが、市の見解を問う。

【答弁】

荃崎保健センターの改修については、市民要望を受け、地域のコミュニティ施設として活用するために、改修を行う

計画を立てるべきと考えながら、見解を伺う。

【答弁】

プール施設の老朽化も進行し、学校プールの在り方の検討時期だと認識している。自校プールの活用は、教職員の負担が大きいとの声があり、周辺の学校長から洞峰公園プールの利用の要望があった。また、「つくば市民・学校プール」供用開始に伴い、運用状況や時間割、移動に係る課題、教員の負担や既存の学校プールの劣化状況なども考慮し検討していく。

【質問】

このほか、当市水道事業と広域化、電話窓口受付時間短縮、つくばまちなかデザイン株式会社について質問した。

段として切実に必要なものであるため、エレベーターの設置を強く求める。

橋本議員から写真を提供してもらう予定。

このほか、給食費の無償化、荃崎給食センターの早期建て替え・耐震基準を満たさない公立保育所廃止計画の撤回・森の里水害対策について質問した。



金子 和雄 議員

新社会党つくば



### 児童発達支援センターについて

**質問** 児童発達支援センターの建設は、筑波大学と連携して進められていたが、PFI事業の参加表明をした事業者が無かったため、センター建設に関する筑波大学との連携が無くなったと聞く。①令和元年7月の提言にある児童発達支援センターの基本理念や機能については、今後整備する児童発達支援センターでも生かしていく考えか。②提言で、幼稚園や特別支援学級などの関係機関との連携不足が指摘されているが、今後

の連携についてどう考えるか。

**答弁** ①今後も、つくば市児童発達支援センター整備に関する提言を基本とする。また、令和6年4月改正の児童福祉法に規定される新たな指針に基づき、さまざまな障害などへの専門性に基づく発達支援機能や、地域の通所支援事業所などに対する助言や援助を行う機能など、地域の中核的役割を担う施設へと整備を進める。②児童発達支援センターを中心に、関係機関対象のケース会議、保育所・幼稚園・学校などとの移行支援会議、関係機関同士のネットワーク会議などを定期開催するなど、民間事業所を含めた関係機関に連携を促し、切れ目のない一貫した支援体制を作っていく。特別な支援が必要な児童の就学時における連携については、小学校は幼稚園と園児の生活について情報を交換する。教育委員会で就学相談を行った園児の情報は、12月と3月に、保護者の了承を得た上で就学相談ファイルを基に、小学校と園児の特性や有効な支援方法の情報を共有し、入学後も一人一人の教育的ニーズに応じた切れ目無い支援を実現できるようにしている。



小野 泰宏 議員

公明党つくば



### 高齢者などの「ごみ出し支援」構築を望む

**質問** 地域の支え合いの充実について、現在、福祉部門においては、高齢者などの「ごみ出し支援」の仕組み作りに取り組んでいるが、これまでの検討状況と課題、今後の進め方について伺いたい。

**答弁** 高齢者などのごみ出し支援については、「つくば市地域ケア会議及び生活支援体制整備推進会議」で令和3年度から協議を重ね、区会、民生委員およびケアマネジャーに対しアンケート調査を実施した。ごみ出

し支援は、日々の生活に直結する重要な課題であり、地域の実態を把握し、より深く課題検討を行うため、タスクフォースチームを結成し、ごみ出しに困難を抱える方に対する現地調査を行った。今後、調査結果や協議内容を踏まえて、ごみ出し支援の取り組み推進のための提言をまとめ、会議の委員長から市に提言書が提出される予定である。

**質問** この問題の解決のためには、ごみ収集の担当である

環境部門との協議・連携が重要と考えるが、環境部門としては、この点について、どのように考えるか伺いたい。

**答弁** 高齢者などのごみ出し支援については、今後の高齢化社会を見据え、考えていかなければならない課題と認識している。支援の方策を検討していくに当たり、福祉部門との情報共有や協議が必要不可欠であることから、今後も相互に連携を取って進めていきたいと考えている。

このほか、つくば市戦略プランの全体的な進捗管理、高齢者などの移動支援について質問した。



飯岡 宏之 議員

自民党政清クラブ



### 洞峰公園の市民アンケート、プール使用

**質問** 市民アンケート実施時は、全市民に行き渡るよう努力すべきだが、いかがか。

**答弁** アンケート実施の際は、広く周知できるように努めたいと思う。

**要望** 市民アンケートの際は、「自然を守るために毎年これだけの経費がかかるが賛成か反対か？」と論点を合わせないと、いつまでも平行線をたどる。論点をはっきりと、答えやすい形で作成していただきたい。

**質問** 学校のプール改修をやる場合、貸し切りにしない限り一般利用者の目に触れることになるので、安全性に非常に問題があり、保護者の同意を得ることはまず不可能だと思う。本当に良い方法か。

**答弁** その問題については、十分に考えなければいけないと認識している。利用を要望している校長たちは、そのことについても案を持っているのかもしれないが、まだ細かいところま

で具体的に相談してはいないため、今後、そういう点については、しっかり話し合いをして想定しておく必要があると思う。とにかく子供たちにとって一番良い使い方ができるように、今後検討することが一番大切だと思っている。



高野 文男 議員

創生クラブ



### 通学道および生活道路の安全対策について

**質問** 平成19年、若栗・中山・鷹野原地区の市道1-67号線の安全対策が請願19第8号として議会で採択されたが、未だに危険な状況のまま通学道および生活道路として利用されている。今後の対策について伺う。

**答弁** 当該市道には、速度抑制や見通しの悪い箇所の注意喚起を目的とした路面標示を設置し、警察において時速40km/hの速度規制および標識や路面標示を設置された。令和2年度には、市が設置した路面標示を塗り直

した。今後は、速度抑制を目的とした路面標示を増やし、車両運転者へ注意喚起を行うとともに、路肩のカラー舗装による歩行空間の確保や、ポストコーンなどの交通安全施設の設置を検討していく。

**質問** 請願19第8号に記載されている市道6-2293号線(小森コーポレーション・敷地内道路)から県道谷田部牛久線への延長接続や、周辺市道の整備について市の考えを伺う。

**答弁** 市道6-2293号線





小村 政文 議員

創生クラブ



外国人でも暮らしやすいまちづくりを！

質問 市では、外国人居住者が相談できる窓口についての情報などをどのように発信しているか。

回答 21カ国語での対応が可能な窓口で対応している現状だが、8カ国語の外国人向け広報紙、「やさしい日本語」を含む4カ国語での外国人向けウェブサイトに、SNS、つくスマなどによる多言語での情報発信に力を入れている。

質問 地域活動に参加したい外国人居住者に対してどのようにサポートしていくのか。

回答 イベントなどの周知は、市広報紙、外国語広報紙、SNS、多言語ウェブサイト、つくスマなどを活用する他、他団体に対する周知協力の依頼、多数の外国人住民がフォローしているSNSへの投稿、外国人の参加が多い市内イベントなどでのチラシ配布など、さまざまな手段、媒体を併用していく。また、今後は、つくばセンタービル内に令和5年度中にオープンするつくば市民センター「コイデオ」内に、つくば国際交流協会



中村 重雄 議員

新緑会



消防署の設置計画

質問 令和6年に(仮称)みどりの南小学校・みどりの南中学校が開校する予定となっているなど、人口の増加が続いているみどりの地区において、防災力の強化をしていくべきと考え

る。昨今、全国的に大規模災害が多い中で、つくば市南消防署を旧谷田部庁舎跡地または谷田部保健センター北側に移設することについて、市の考えを伺う。

回答 南消防署の移設については、つくば市公共施設等総合管理計画に基づき、消防庁舎の長寿命化を進めているため、現時点では考えていない。消防本部としては、市全体の消防署の配置バランスを分析・検証し、築65年を目前に庁舎の建て替えや移設を図り、防災拠点となる消防署の適正配置を進めていく。また、社会情勢や消防需要の動向を注視しながら、随時、適正配置の見直しを図っていく。消防庁舎は、市民の安全・安心を守るための防災拠点として、重要な施設と考えている。南消防署を含めた消防庁舎の適正配置

との連携による国際交流拠点を設ける予定である。この国際交流拠点では、日本語講座をはじめとする外国人支援事業や国際理解の推進に関する事業を行う他、外国人住民がイベントなどの情報を気軽に入手できる場としても機能させていく。



このほか、市の公共交通について質問した。

このほか、市民や専門家の意見を聞きながら、随時、必要に応じて進めていく。



このほか、市営住宅の長寿命化計画、用途廃止市営住宅跡地への建て替え、災害時の市営住宅の一時利用について質問した。



黒田 健祐 議員

つくば自民党



スタートアップについて

質問 今年度から第2期つくば市スタートアップ戦略が開始された。1期計画の総括と2期計画との違い、また、2期計画で目指すものについて伺う。

回答 第1期つくば市スタートアップ戦略では、スタートアップの成長段階に応じた幅広い支援策を実施してきた。つくばスタートアップパークの設置、来場者の累計3万人超え、スタートアップ推進都市としての知名度や期待の向上、スタートアップ推進室設置、第1期戦

略を策定後に55社が創業し、市内で活動するスタートアップの数が80社を超えたことなど、一定の成果はあると考えている。一方、市のスタートアップ環境のさらなる引き上げには、より効果的な行政支援や、市民全体への波及効果、関係機関との協働が必要という課題も見えたため、第2期戦略では人材育成とエコシステム醸成を目指す。市が持つ人的資源や研究技術の豊富さという強みを生かし、スタートアップパークなどでのイ



あさの えくこ 議員

つくば・市民ネットワーク



児童発達支援センターの諸課題

質問 児童発達支援センターを市としてなるべく早期に整備することとだが、現在療育を行なっているさくら、とよさと、くまの各福祉支援センターの今後の方向性について伺う。

回答 児童発達支援センターの整備については、今後、市における児童発達支援センターの在り方に関する検討会や当事者の方々の意見を十分に聞きながら、設置場所や事業スケジュールなどの整備に関する方向性について、令和5年度内には決定

し、できる限り早期の開設に向けて整備を進めていく。既存の3センターについては、どういう形にすることが当事者にとって本当にプラスになるかということを考え、障害の種類などにかかわらず、適切な支援が行えるような体制をできる限り整えていきたい。

質問 現在要望が多い事業の一つに医療的ケア児のショートステイがあるが、この機会に実現に向けた考えについて伺う。

回答 医療的ケア児のショートステイの施設に関しては、現状、県南地区にないため、事業の実現に向け、市として医療機関および各種施設に対し、打診を行っている。なかなか引き受けていただけませんが、今後も引き続き打診していく予定である。

このほか、こども基本法への対応、窓口・電話受付時間変更について質問した。





かわむら なおこ 川村 直子 議員

つくば・市民ネットワーク



### 市営住宅施策、市民ニーズに沿った改善を！

**質問** 「市営住宅に空室があるかなぜ入居出来ないのか」との声があり、現状を伺う。

**質問** 入居条件、入居率、入居時抽選倍率について伺う。

**回答** 長寿命化計画に基づき、老朽化に伴う解体または建て替えが必要な団地や、外壁などの改修工事期間中の団地は、募集を停止している。また、修繕に高額な費用がかかるため募集しない部屋や、立地場所などの要因で入居希望がない部屋は空室になっている。

**回答** 市営住宅の入居条件は、市内に3カ月以上在住または在勤している方で、住宅に困窮していることが明らかで、同居または同居しようとする親族がいること、さらに世帯の収入状況が基準額を超えず、市民税を滞納していないことである。ただし、60歳以上の方、障害者、生活保護受給者は、一部指定された単身入居可能な住宅に限り申し込むことができる。全825戸のうち単身入居可能な住宅は64戸で、入居率は100%である。令和5年度定期募集における抽せん倍率は、単身入居可能な部屋が平均7・5倍、世帯向けの部屋が平均1・2倍である。

**要望** 同居親族要件を無くす  
市営住宅条例改正案が途中であり、市でも条例改正を要望する。またセーフティネット住宅制度の活用において、家賃低廉化や家賃債務保証低廉化の条例をつくり、補助金を出すなど、**一歩進んだ取り組みを要望する。**  
このほか、投票の権利の保障、LGBTQへの理解を深める取り組みについて質問した。



みながわ ゆきえ 皆川 幸枝 議員

つくば・市民ネットワーク



### 地域で孤立しないため福祉の充実を！

**質問** 保健福祉相談、高齢者福祉タクシー券、生活支援体制整備事業の実施状況を伺う。

**回答** 保健福祉の相談機能である地域包括支援センターには、認知症などの介護・日常生活に関すること、経済的課題などの家庭生活に関すること、成年後見制度を含む権利擁護に関すること、サービスの利用や医療に関することなどの相談が寄せられている。同じく、保健センターには、母子保健では、離乳食や偏食などの栄養に関すること、

体重増加不良などの発育に関する相談、成人保健では、高血圧や糖尿病などの生活習慣病に関すること、精神保健では、こころの不調に関する相談が寄せられている。高齢者福祉タクシー券は、1人当たり年間1万2千円分のタクシー券を交付している。広報紙やホームページで周知、広報紙9月号には新たに「高齢者サービス暮らしの応援ガイドブック」を折り込んだ。住民同士の助け合いの仕組みを構築するための生活支援体制整備事業は、市全体の地域課題について協議する第1層協議体を開催し、ごみ出し支援と移動支援について協議している。第2層協議体は、7つの圏域において開催し、地域での支え合い活動が広がっていくことを目指して協議している。

**要望** つくたくを高齢者施策として位置付け、情報発信、ニーズ把握や施策への反映が必要。また、相談機能としての保健師の充実、地域の住民同士の助け合いの仕組み作りもしっかりと進めていく必要がある。  
このほか、大雨の際の災害対策、森林の保全と木質バイオマスの活用について質問した。



こもりや さとる 小森谷 さやか 議員

つくば・市民ネットワーク



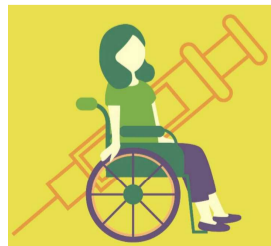
### HPVワクチンについて

**質問** 令和5年度から4価に加え9価ワクチンも定期接種となったが、厚労省に届けられた副反応疑い報告のうち、医師や企業が重篤と判断した数はどちらが多くなっているか。

**回答** 4価ワクチン、9価ワクチンの初回接種者数の令和5年度の実績については、7月末現在、4価ワクチン12人、9価ワクチン502人である。延べ回数は、4価ワクチン138回、9価ワクチン601回である。また、キャッチアップ接種の初

回接種者数は、4価ワクチン18人、9価ワクチン387人である。延べ回数は、4価ワクチン304回、9価ワクチン557回である。厚労省に届けられた副反応疑い報告のうち、医師や企業が重篤と判断した数については、厚労省の令和5年3月改定版リーフレットによると、接種1万人当たり、2価ワクチンまたは4価ワクチンでは約5人、9価ワクチンでは約7人で、9価ワクチンの方が若干多くなっている。

**要望** インフルエンザワクチンの場合100万人に1人であり、1万人に2人分の差は若干ではない。接種者数が増えるごとに協力医療機関に新規受診する患者も増えており、接種者数との相関関係が明らか。9価の方が報告が多いことなど予防接種事業の責任主体として注意喚起すべきである。  
このほか、つくば市社会福祉協議会との連携、公園の民間事業者による長期占有、人工芝について質問した。



### 議会中継映像配信

- ▶ 本会議（定例会・臨時会）の開催時間は生中継をご覧いただけます。
- ▶ 本会議開催日ごとに、3日後（休日を除く）から録画映像を視聴することができます。  
※ 委員会は配信していません。



### 傍聴される方へのお願い

- ▶ **マスク**は各自の判断でご着用ください。
- ▶ 傍聴受付に設置した**消毒液はご自由に**ご使用ください。



広報広聴委員	
委員長	小村 政文
副委員長	川久保皆実
委員	宮本 達也
委員	川村 直子
委員	山中 真弓
委員	小森谷さやか
委員	神谷 大蔵
委員	小久保貴史



期日 令和5年7月19日～7月21日  
場所 東京都足立区・宮崎県宮崎市・宮崎県都城

内容 足立区では、「区民のまちに対する誇り」を高めるため、シティブロモーション課を創設し、区民をメインターゲットとした多様なプロモーションに取り組まれた。順序立てた戦略を、瞬間的ではなく、約10年の歳月をかけて着実な成果に結びつけた点は、大変参考になった。

宮崎市では、家庭訪問の実施など、家庭と学校をつなぐ役割を担うスクールアシスタントを小・中学校に配置している。これは、教員の働き方改革の面からも有意義であると思われ、今後つくば市の不登校児童生徒の支援の在り方を検討していくに当たり、参考にしたいと思う。

都城市は、全国で唯一、8年連続ふるさと納税寄附額トップ10入りを果た

期日 令和5年7月12日～7月14日  
場所 神奈川県川崎市・兵庫県明石市・兵庫県宝塚市

内容 川崎市の「フリースペース」は、不登校児童生徒の居場所である、子ども夢パーク内に開設された日本初の公設民営型フリースペースで、各方面の講師との出会いの場を作るなどして将来的な社会的自立を目指している。

明石市は複数の子育て支援事業を実施しており、0歳児見守り訪問である「おむつ定期便」では、毎月無料の赤ちゃん用品などの配達により、赤ちゃんと保護者が子育て経験者と出会うきっかけを作るとともに、市のサービスなどを紹介している。

宝塚市では、物品・役務の受注や提供などで、市や民間施設といった発注者と障害者就労施設を仲介する「共同受注窓口グッドジョブ」と、7地区の



足立区



宮崎市

している。これは、「肉と焼酎II都城」をコンセプトとし、返礼品を原則肉と焼酎に限定することで、都城市は日本一の肉と焼酎のふるさとであるというブランディングを行ったことなどによるものであり、その手法は大変参考になった。

市委託相談支援事業所といった施設や民生委員などが全て連携できる相談支援体制について学んだ。

いづれも、つくば市が課題とする内容に対して大変参考になるものであり、今後の市政発展に生かしていきたい。



宝塚市



明石市

福祉保健

総務文教

常任委員会 行政視察報告

都市建設

市民経済

期日 令和5年7月25日～7月27日  
場所 東京都世田谷区・静岡県富士宮市・静岡県静岡市

内容 世田谷区の「世田谷区における多様性を認め合い男女共同参画と多文化共生を推進する取組について」の視察では、男女共同参画の推進事業を事業者に委託し、男女共同参画の意識を高めながら男女LGBTQの人々が平等に暮らす後押しをしている。多文化・多様性を認め合うことへの議論を深めて行く必要性を感じ、事業内容は大変参考になった。



世田谷区

富士宮市での「起業・創業・事業者相談窓口 ビジネスコネクトふじのみや」の視察では、行政・商工会・地元信用金庫が連携し事業活動の支援と地域経済の維持継続および活性化を図っている。面積が広いつくば市でも同様の連携体制を構築する必要があると感じた。



静岡市

静岡市での「公民連携による脱炭素先行地域づくり事業」の視察では、静岡県の経済を牽引する企業と連携し、市内に3つの「脱炭素エリア」を整備し市民を巻き込み、賑わい作りなどを進めている。市民に脱炭素を周知して行くため、広告塔となる「エリア」や「場」が重要だと感じた。



千代田区

期日 令和5年7月26日～7月28日  
場所 東京都千代田区・岩手県紫波町・岩手県盛岡市

内容 千代田区では、「ウォーカーブルなまちづくり」の取り組みについて視察を行った。居心地の良い「滞留空間」とそれらをつなぐ「回遊空間」の創出により、さまざまな活動を行いやすくする「ウォーカーブルなまちづくり」に取り組んでおり、その活動の一環として、丸の内仲通りに芝を設置する事業を現地で学んだ。



盛岡市

盛岡市では、「PFIによるいわて盛岡ボールパーク整備事業」について学んだ。いわて盛岡ボールパークは、岩手県と盛岡市の共同事業で整備された施設であり、民間資金を活用するPFI事業のうちBOT方式を採用することで財政負担の縮減が図られている。整備手法として大変参考となるものだった。



予算決算委員会審査

令和4年度  
決算認定

9月定例会で付託された補正予算などに加え、令和4年度一般会計歳入歳出決算認定、各特別会計歳入歳出決算認定、令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金処分および決算委員会および各分科会を開催しました。

議案詳細



会計名	歳入	歳出	
【認定第1号】 一般会計	1,186億2,668万2,513円 前年度比12.3%増	1,130億4,570万1,475円 前年度比14.3%増	
特別会計	【認定第2号】 国民健康保険	190億200万5,649円 前年度比0.2%増	185億7,653万4,157円 前年度比2.3%増
	【認定第3号】 後期高齢者医療	24億2,772万4,777円 前年度比8.5%増	23億8,051万167円 前年度比6.8%増
	【認定第4号】 作岡財産区	7万3,611円 前年度比1.1%減	5万892円 前年度比5,618.2%増
	【認定第5号】 公平委員会	67万2,328円 前年度比63.0%減	21万9,029円 前年度比80.9%減
	【認定第6号】 介護保険事業	146億3,986万9,103円 前年度比2.0%増	140億6,629万2,481円 前年度比1.9%増
【認定第7号】 下水道事業会計	収益的収入 および支出	107億4,410万7,980円	104億5,738万1,137円
	資本的収入 および支出	37億5,653万8,924円	52億3,693万2,163円
【議案69号】 水道事業会計	収益的収入 および支出	62億77万4,101円	53億2,025万6,579円
	資本的収入 および支出	16億2,942万9,530円	28億9,087万9,008円

総務文教分科会

【認定第1号】 令和4年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

【質疑】 総務費 魅力発信に要する経費に関して、「シテイプロモーション事業・関係人口創出拡大事業」の概要、目標、指標、成果について

【答弁】 市内外に対し、市の認知度向上を図るため、スーパーシティ関連や、つくばセンターで開催される集客力の高いイベント、地域のイベントなどの情報発信とともに、市への愛着心の醸成を図る企画を実施した。また、市政や知的好奇心を満たすさまざまなイベントなどの情報を、市の公式SNSなどで市内外へ発信するとともに、プロモーションサイト「つくばTomorrow Labo」による市の先駆的な取り組みの情報発信、大学生と協働した地域PRなどを行った。目標は、市公式SNSへの市の先駆的な取り組みや地域イベントなどの投稿数を毎年約3%増とすることで、令和4年度は、目標の64件に対して116件投稿した。成果としては、市公式YouTube「かわら版チャンネル」での動画配信などを行った結果、Xのフォロワー数は5万5千を超えた。

【質疑】 教育費 図書館運営に要する経費に関して、現状の課題について

【答弁】 読書推進、家庭教育、生涯学習に通ずる事業など、さまざまな事業に取り組んでいるが、共通の課題としては、業務が増えることで人員が不足し、今後司書資格を持つ職員の確保が難しくなることである。

【議案第70号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第4号)

【質疑】 教育費 施設整備に要する経費に関して、小学校空調整備の設置工事場所と、小学校教室増設工事の事業内容について

【答弁】 空調設備の設置工事は、大曾根小学校、上郷小学校、前野小学校、東小学校、二の宮小学校、並木小学校、谷田部小学校、島名小学校、吾妻小学校の特別教室と秀峰筑波義務教育学校の普通教室を予定している。小学校教室増設工事は、香取台小学校の児童数増加に伴い、当初から普通教室に転用するために用意していた多目的スペースの廊下側に、出入口と間仕切りを2部屋分設置して、普通教室へ転用するものである。



福祉保健分科会

【認定第1号】 令和4年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

【質疑】 衛生費 母子保健指導に要する経費に関して、妊娠時から担当保健師を割り当てて、産前から産後まで切れ目無くサポートする仕組みの導入について

【答弁】 現在、多くの方が庁舎で妊娠届出を行っている状況だが、各地区の保健センターで妊娠届出が行われれば、各家庭に地域担当保健師をつけることができ、産前から産後まで担当保健師を決めて、切れ目無くサポートできると想定している。継続的に支援が必要な方には、保健センターにいる地区担当保健師が継続的に支援しているが、HPなどで保健センターでの受け付けを案内しても、大多数が庁舎で妊娠届出を行っている状況なので、今後もPRに努めたい。

【質疑】 あかちゃん訪問の実施状況について

【答弁】 あかちゃん訪問は内容を統一しているため、訪問する専門職の属性は選べず、事前に援助が必要だと分かっている場合を除いて原則1名で訪問を行っている。

ている。あかちゃんの状態把握もあるため4カ月までの間に全戸に対して1回訪問を行っており、里帰りなどで4カ月までの間に訪問できない場合も、1年以内には実施している。そこから支援が必要な方には、養育支援訪問として継続的にフォローする流れとなっている。訪問拒否された場合は、電話などでの聞き取り調査などを行っている。

【議案第70号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第4号)

【質疑】 民生費 民間保育所運営に要する経費に関して、庁用備品の購入目的および導入スケジュールについて

【答弁】 保育士の入力用タブレットとしてiPad170台を購入し、児童の登降園管理、保護者との連絡調整などを電子化するために使用する。タブレットは持ち運びができ、どこでも使える他、iPadはさまざまなシステムへの汎用性が高く、iOSはウイルス対策が不要なため、現場の保育士にも意見を聞いた上でiPadを採用した。10~12月に各保育所のWi-Fi環境の工事を行い、2月頃に納入して、今年度末頃からの本格導入を予定している。詳細な運用方法やシステムの仕様は今後決定する予定であり、外国語対応も可能な限り対応したい。



市民経済分科会

【認定第1号】 令和4年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について



【質疑】 農林水産業費 農業委員に要する経費に関して、現地調査会における各地区の案件数について

【答弁】 令和4年度の各地区の農地法関係許可申請などの件数は、大穂地区が109件、豊里地区が200件、谷田部地区が323件、桜地区が252件、筑波地区が254件、荃崎地区が115件である。

【質疑】 谷田部地区の件数がかなり突出しており、現在、農業委員2名とのことだが、どのように取り組んでいるのか

【答弁】 谷田部地区では委員2名が辞任し、現在、2名の委員で調査会を行っているが、2名では少ないということで、農業委員会内部で協議した結果、他地区から2名の応援を得て合計4名で調査会を実施している。

【議案第77号】 つくば市民センター条例について

【質疑】 第6条第4項第2号ウの16歳以上に関する内容について

【答弁】 今回、吾妻交流センター、市民活動センターの機能の集約に加え、全国でも数少ないが、16歳以上の青少年の方の利用を可能にしている。年齢的には16歳以上18歳未満の青少年の方が、2名以上の団体として利用でき

る。中学生だけの利用はできないが、18歳以上の代表者が1人入れれば利用は可能となる。

【意見】 これからの複合型コミュニケーションセンターの基軸になる条例であり、この条例にのっとり運営していくことが大事である。この施設は交流センターと異なる施設であり、しっかりと棲み分けして運営する必要がある。条例に反対するものではないが、吾妻交流センターを使用していた一般利用者の選択肢が消えてしまったとの印象がどうしても拭えない。



新たな市民活動拠点「コリドイオ」

【1階と3階】つくば市民センターなどの公共施設を整備

都市建設分科会

【認定第1号】 令和3年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について



【質疑】 土木費 住宅維持管理に要する経費に関して、市営住宅の空き室数の推移について

【答弁】 市営住宅の空き室数は管理戸数825戸に対し、令和2年度末で222戸、令和3年度末で234戸、令和4年度末で237戸である。

【質疑】 工事などで貸し出せない空き室の状況と、それ以外の空き室の今後の供給計画について

【答弁】 長寿命化計画に基づいて老朽化に伴う解体や建て替えが必要と判断された団地や、外壁改修工事および浴室改修工事の期間中の団地は新規募集を停止している。また、老朽化による排水管などの破損により、修繕に高額な費用がかかるため募集できない部屋もある。それ以外の空き室は、立地場所の悪さや建物の老朽化により、入居希望のない3部屋程度が常時入居可能となっている。そのほか、退去によって空き室となった部屋のうち、高額な修繕費がかららない部屋を修繕した上で、7戸程度を定期的に供給している。

予算決算委員会

【認定第1号】 令和4年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について



▼審査結果II 認定すべき

【反対討論】 決算で余剰金が出たので、それが補正予算で基金に回ったという結果になった。財源は、基金に一定は入れるものの、最大限市民要求に応えるべきであるため反対する。

【賛成討論】 つくば市未来構想で掲げる「つなかりを力に未来をつくる」の理念のもと、持続可能な都市実現のための必要な施策を着実に実施してきたことが認められ、多様な市民ニーズに積極的に対応してきたものと考えるので賛成する。

【認定第3号】 つくば市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

▼審査結果II 認定すべき

【反対討論】 高齢者世帯の貯蓄額は、300万以下が35%、貯蓄無しが17%と言われ、少ない年金から保険料が天引きされて、働かないと暮らせないという貧困化が進んでいる。後期高齢者の差別医療については一刻も早く廃止を行い、高齢者が安心して医療が受けられる制度へと改善することを求め反対する。

【賛成討論】 後期高齢者医療制度については、少子高齢化が進み、団塊の世代が後期高齢者となり始める中、高齢者が安心して生活を送れるよう、適切な医療の給付を行うために必要な財源を確保し、安定した制度運営がなされていると考えるので賛成する。

【認定第6号】 令和4年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼審査結果II 認定すべき

【反対討論】 3年に1度の見直しで保険料が上がるという仕組みは国の責任放棄である。低所得者のみならず、この介護保険制度に関わっているあらゆる所得階層の人たちにとって非常に重い負担になっている。介護保険料について、市として基金の活用なども含め、今後考えてもらいたいので反対する。

【賛成討論】 高齢化が進み、地域全体で高齢者を見守り、介護を支えていく仕組みを強化することが大変重要になっている。高齢者や介護者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、介護保険制度の安定的な運営に努めたことが認められるので賛成する。



# 委員会審査

## 総務文教委員会

【請願5第3号】 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

▼審査結果▶採択すべき

質疑、自由討議、討論はありませんでした。

## 福祉保健委員会

【議案第86号】 つくば市立保育所条例の一部を改正する条例について

【質疑】 岩崎保育所の新設工事のスケジュールおよび保育所の番地が変更となった理由について

【答弁】 令和5年4月から6月にかけて旧岩崎幼稚園の解体、7月から新園舎の工事を開始し、現在は基礎工事を行っている。令和6年2月末に工事完了、3月中旬にかけて各種検査や手直しを行い、4月の開所を予定している。番地については、新園舎が現在の岩崎保育所の場所から岩崎幼稚園跡地に移転となるため変更となった。

議案詳細



## 市民経済委員会

【議案第83号】 財産の取得について

▼審査結果▶可決すべき

【質疑】 放射性物質、生物剤、神経剤による特殊災害として、どのようなことを想定しているか

【答弁】 放射性物質を取り扱う市内の病院・研究所・工場・事業所など108施設での災害や、炭疽菌、ボツリヌス菌などの生物剤、サリン、VXなどの神経剤による災害を想定している。

【質疑】 特殊災害対応自動車は他行政区からの要請を受けるのか

【答弁】 県に緊急消防援助隊があり、市消防本部は、統合機動部隊に所属している。大規模な災害発生時は、県からの指示または求めにより特殊車両を用いて出動することになっている。

## 都市建設委員会

【議案第80号】 市道路線の認定について

いずれも、質疑、自由討議、討論はありませんでした。

# オンライン一般質問を実施

令和5年9月13日の本会議において、黒田議員がオンラインによる一般質問を実施しました。



オンライン一般質問実施時の本会議場



Zoom画面上

つくば市議会では、令和5年6月1日の本会議において、会議規則が改正され、オンラインによる一般質問が可能となっております。

## 【オンラインでの一般質問ができる場合】

議員が、公務、災害、負傷、疾病、育児、看護、介護、出産、配偶者の出産補助、その他のやむをえない事由により、会議を欠席、遅刻又は早退しなければならないが、オンラインであれば質問を実施することが可能な場合、本人の申出により実施することが可能です。

# 議案等審議

【議案第70号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第4号)

原案可決

【反対討論】 一般会計の歳出は、差引額約55億8千万円が余った。繰越金などを差し引いた実質収支額の約43億円から必要経費を補正し、最終的な余剰金約21億4千万円を学校教育・公共施設などへの基金に積み増しているが、本来、一般会計予算は単年度で最大限市民に還元すべきである。市で給食無償化にかかる予算は年間約11億円なので、余剰金で10月から給食無償化などの施策実施も可能だったと考える。

【賛成討論】 約42億8千万円を増額して歳入歳出予算の総額を約1147億3千万円とし、補正を行うものである。小中学校や交流センターの空調設備設置・改修工事や、次年度以降の放課後児童クラブや福祉支援センターの運営業務委託を主要事業とし、その他、基金積み立てや国庫支出金の精算金などが計上されている。これは、市民サービス向上を図るとともに、次年度以降の事業準備に必要不可欠な予算であり、内容も十分精査されていると考える。

【意見書案第4号】 ALPS処理水の海洋放出に関し対応を求める意見

否決

【反対討論】 県議会で可決したALPS処理水の海洋放出による風評被害対策を求める意見書は、科学的知見に基づく対応、第三者からの客観的な言及、環境省のモニタリング調査など安全性を確認した上で、風評被害払拭のために関係者に寄り添う極めて現実的な意見書だが、今回の意見書は、未知なる恐怖や不安を助長する方向性のもので、風評被害拡大の恐れがある。また、海洋放出以外の処分は現実的ではなく、現時点で科学的知見に基づく対応、安全性の担保、モニタリング調査、風評被害の払拭などの施策を進めている現政権の対応は妥当である。

【賛成討論】 政府と東京電力は、漁業関係者などから反対があるにも関わらず、海洋放出を行った。他に4つの処理方法が委員会内で提案された中で、海洋放出は圧倒的に低コストで早いとして採択されたが、実際は海底トンネル本体工事だけで430億円かかり、処理期間は30年とされる。放射性物質の処理は、時間による減衰で総量減少を待つことが原則で、薄めたから流しているとはいえない。今からでも処理方法を見直し、処理汚染水の増加を止めることを求める。

\*委員会：多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会









令和5年10月21日

# 議会カフェ 開催しました

「つくば市の好きなおところをもっと良くするには?」というテーマで  
市内3会場でワークショップ形式の意見交換を行いました



市議会初のワークショップ!



話し合いの主役は市民の皆様!



沢山のアイデアが集まりました!

## つくば市のココが好き!

- ・筑波山
- ・人材資源が豊富なところ
- ・市民に愛される公園
- ・都会と田舎の共存
- ・住環境
- ・農作物
- ・産学官民の連携
- ・自然豊かなところ
- ・公共施設
- ・緑の中の市民生活

もっと良くする  
改善アイデアを  
チェック!

QR  
コード

### 大穂交流センター



### つくば市役所



### 荃崎交流センター

